眼瞼下垂症について

目が開きにくく，まぶたが重いという状態です。
それとともに**眉毛が高く上がり，おでこに深いシワ**が生じるようになります。

まぶたの縁には瞼板という固い組織があり，この瞼板にまぶたを挙上する筋肉（上眼瞼挙筋）が付着しています。この筋肉の働きが瞼板に伝わらなくなると，まぶたが開きにくくなります。

眉毛が高くなり，おでこにシワができるのは，他の筋肉（前頭筋）が代わりに過剰に働いているからです。これにより**肩凝り，頭痛，自律神経失調症**などが生じることもあります。

原因

・先天性（上眼瞼挙筋の機能不全，欠損）
・加齢（皮膚のたるみや上眼瞼挙筋のゆるみ）
・コンタクトレンズの長期使用
・アレルギー疾患などで，目をよく擦る刺激

治療

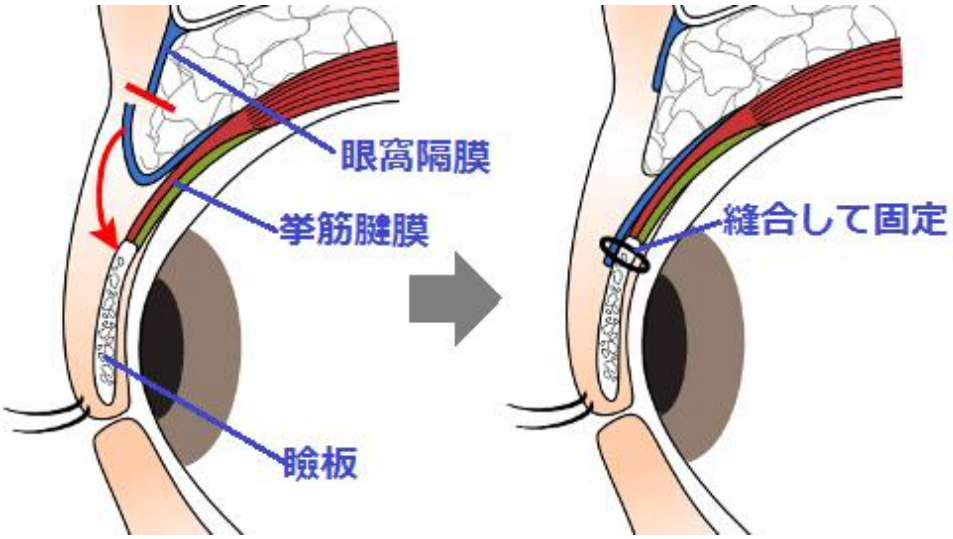
原則として，1 泊入院で**局所麻酔の手術**を行います。
保険適応があります。
手術の方法は，診察して，患者さんの希望や状態に合わせて決定します。

手術

手術時間	1～2 時間
術後通院	1 週間後に抜糸，1 ヵ月後、3 ヵ月後、6 ヵ月後
洗顔・シャワー	翌日より可能
合併症	まぶたの大きな腫れ，内出血，左右差

・まぶたの大きな腫れ，内出血は，必ず改善しますが，術後 2～3 週間はかかります。
・多少の左右差は生じることがあります。大きく異なる場合は，再手術を行って，修正します。

挙筋腱膜前転術



その他に，眉毛下の皮膚切除による上眼瞼リフト，大腿筋膜の移植による吊り上げ術があります。

悩んでいる患者さんがいらっしゃいましたら，厚生連高岡病院の形成外科を受診して頂ければ幸いです。